

特集

落ち着け，慌てるな！ 泌尿器外傷マネジメント

企画にあたって

泌尿器科領域の外傷は，意外と守備範囲が広く，多くは緊急対応が要求されます。また本外傷は，骨盤外傷，腹部外傷と合併することもあり，他科との連携や，外傷の程度によってはより高次の医療機関への搬送も考慮しなくてはなりません。また，医原性の尿路損傷への対応も重要な課題です。

わが国においては、『腎外傷診療ガイドライン 2016 年版』からの発展形として，昨年『泌尿器外傷診療ガイドライン 2022 年版』が発行され，この分野の診療の標準化が期待されます。ただ，遭遇する頻度はそう多くはないため，多くの泌尿器科医は，初期対応含め実は不安を抱えながら診療にあたっているのではないかと推察します。今回泌尿器外傷を特集するというお話をいただきましたが，そういう理由もあってタイトルは【落ち着け，慌てるな！ 泌尿器外傷マネジメント】にしました。

特集の構成ですが，まず，救急診療，整形外科のエキスパートの先生に，〈総論〉として外傷初期診療，腹部外傷，骨盤外傷の基本について執筆をお願いしました。非常に興味深い内容で，泌尿器科領域にとどまらない外傷診療全体への理解が深まると考えています。機会があれば『外傷初期診療ガイドライン JATEC』を一読いただくことをお勧めします。そして〈各論〉として泌尿器科のエキスパートの先生に各外傷についての解説をいただきました。同時に，医原性損傷についても詳細に解説をお願いしました。どの項も要点が簡潔にまとめられており，わかりやすい内容になっています。

外傷の症例に遭遇するたびに何度も繰り返しお読みいただけるよう本特集をお手元においてご活用いただければ幸いです。

倉敷中央病院泌尿器科

井上 幸治